

2016年3月期 第2四半期決算説明資料

SMBC日興証券株式会社

2015年10月26日

いっしょに、明日のこと。
Share the Future

 SMBC日興証券



		[参考資料]	
2016年3月期 第2四半期決算サマリー	2	四半期損益推移 (連結)	18
純営業収益・商品販売の状況	3	四半期損益推移 (S M B C日興証券)	19
業績の四半期推移	4	営業指標-1	20
株式委託手数料	5	営業指標-2	21
投信募集・代行手数料等	6	営業指標-3	22
トレーディング損益	7		
引受関連手数料 (株式・債券)	8		
M&A	9		
三井住友銀行との連携について	10		
販売費・一般管理費	11		
連結貸借対照表・自己資本規制比率の状況	12		
預り資産残高・資産導入額	13		
海外ネットワーク	14		
海外拠点 (証券業) の業績推移	15		
トピックス	16		

当連結会計年度より、会計基準の改正等を受け、右図の通り、表示方法の変更を行っております。
 なお、本資料において脚注を付けた箇所については、「親会社株主に帰属する当期純利益」を
 「当期純利益」として記載しております。

前連結会計年度	当連結会計年度 (改正後)
少数株主損益調整前当期純利益	当期純利益
少数株主利益	非支配株主に帰属する当期純利益
当期純利益	親会社株主に帰属する当期純利益

・本資料は、当社の業績等に関する情報の提供を目的として、2015年10月26日現在のデータに基づいて作成しております。また、本資料には資料作成時点の
 当社の見解を記載しており、当社は、その正確性及び完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更することがあります。

連結決算を開示しております。特段の記載のないものは連結の業績を記載しております。

2016年3月期 第2四半期決算サマリー

2016年3月期
上期

- 純営業収益1,623億円(前年同期比+12%) 経常利益405億円(同+11%) 当期純利益(*1) 294億円(同+23%)
株式委託手数料、トレーディング損益および引受手数料が収益を牽引し増収増益
- 株式委託売買代金は、12.6兆円(同+44%)
商品販売額合計は4.7兆円(同+7%)、半期ベースで過去2番目に高い水準
投信販売額は1.4兆円(同+10%)、外債販売額1.4兆円(同-7%)、国内債販売額1.6兆円(同+17%)
- 引受手数料は197億円(同+29%)
2015年度リーグテーブルは、グローバル株式・ブックランナー3位(*2)、円債総合・主幹事4位(*3)、M&A公表案件取引金額ベース6位、案件数ベース1位(*4)
- 販売費・一般管理費は1,243億円(同+13%)
- 子会社株式売却益65億円(1Q)および投資有価証券売却損23億円(2Q)を特別損益に計上
- 2015年9月末の総資産10.0兆円、純資産6,945億円、自己資本規制比率(SMBC日興証券単体)は439%と安定した財務基盤を維持

2016年3月期
第2四半期

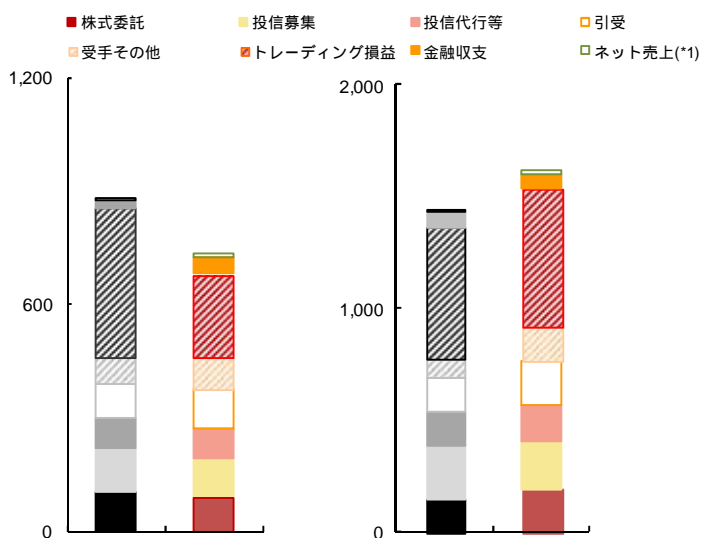
- 純営業収益737億円(前四半期比-17%) 経常利益150億円(同-41%) 当期純利益(*1) 79億円(同-63%)
- 商品販売額合計は2兆3,037億円(同-8%)と減少したものの、国内債販売額9,476億円(同+27%)を中心に高い水準を持続

経営成績 (単位:億円)	16/3期		前四半期比 増減率	15/3期 上期	16/3期 上期	前年同期比 増減率
	1Q	2Q				
営業収益	958	793	-17%	1,564	1,751	+12%
純営業収益	886	737	-17%	1,452	1,623	+12%
販売費・一般管理費	640	602	-6%	1,100	1,243	+13%
経常利益	254	150	-41%	365	405	+11%
税金等調整前当期純利益	317	125	-60%	362	442	+22%
当期純利益(*1)	215	79	-63%	240	294	+23%
財政状態	2015年 3月末	2015年 9月末	前期末比 増減額	2014年 9月末	2015年 9月末	前年同期末比 増減額
総資産	9.3兆円	10.0兆円	+0.6兆円	9.3兆円	10.0兆円	+0.6兆円
純資産	6,666億円	6,945億円	+279億円	6,167億円	6,945億円	+777億円

純営業収益・商品販売の状況

- ◇ 第2四半期の純営業収益は737億円(前四半期比-17%)。引受手数料107億円(同+20%)や受手その他84億円(同+20%)は増収となったが、株式委託手数料89億円(同-16%)、投信募集手数料101億円(同-11%)、トレーディング損益220億円(同-45%)が減収
- ◇ 上期の純営業収益は1,623億円(前年同期比+12%)、商品販売額合計は4兆7,962億円(同+7%)と伸長
外債販売額は1兆4,064億円(同-7%)と減少したが、引受の増加により国内債販売額は1兆6,939億円(同+17%)と半期ベースで過去最高を更新

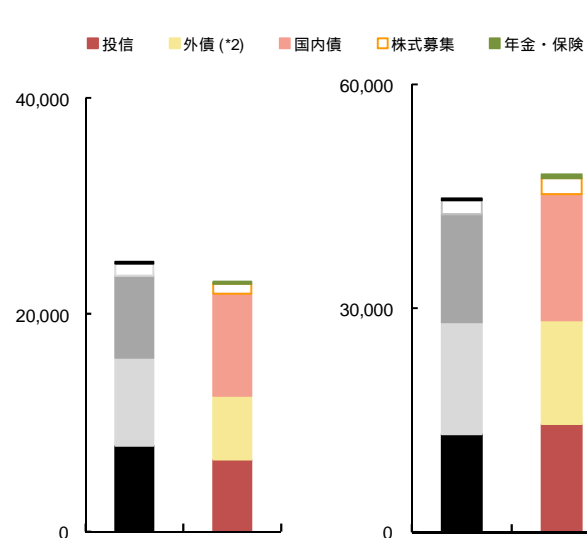
純営業収益 推移(億円)



	16/3期			15/3期		
	1Q	2Q	前四半期比	上期	上期	前年同期比
株式委託	107	89	-16%	147	196	+34%
投信募集	113	101	-11%	247	214	-13%
投信代行等	80	77	-4%	150	158	+5%
引受	89	107	+20%	152	197	+29%
受手その他	70	84	+20%	79	154	+96%
トレーディング損益	400	220	-45%	591	621	+5%
金融収支	18	46	2.4倍	69	64	-6%
ネット売上(*1)	5	8	+60%	14	14	-4%
合計	886	737	-17%	1,452	1,623	+12%

(*1)売上高・売上原価

商品販売額 推移(億円)



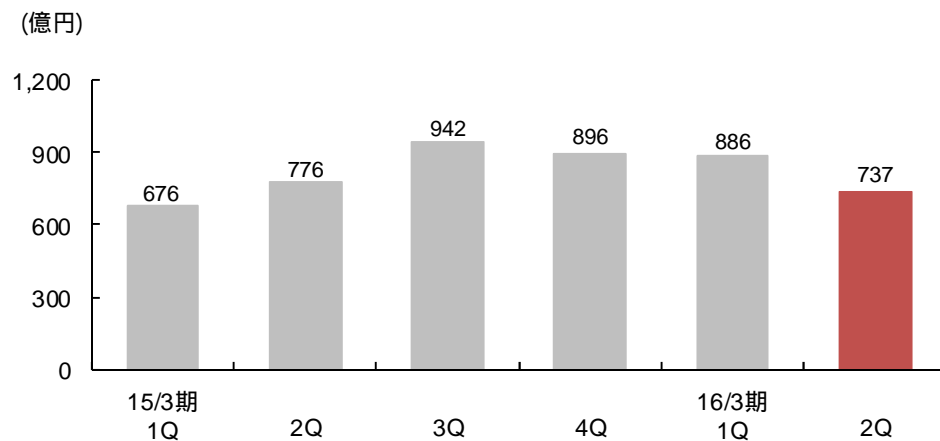
	16/3期			15/3期		
	1Q	2Q	前四半期比	上期	上期	前年同期比
投信	7,884	6,542	-17%	13,108	14,426	+10%
外債(*2)	8,175	5,888	-28%	15,173	14,064	-7%
国内債	7,463	9,476	+27%	14,484	16,939	+17%
(うち個人向け国債)	(1,297)	(1,517)	(+17%)	(1,950)	(2,813)	(+44%)
株式募集	1,213	941	-22%	1,881	2,154	+15%
年金・保険	191	189	-1%	164	380	2.3倍
合計	24,925	23,037	-8%	44,808	47,962	+7%

(*2)外債販売は、既発債の販売も含む。円建外債は、外債に含む

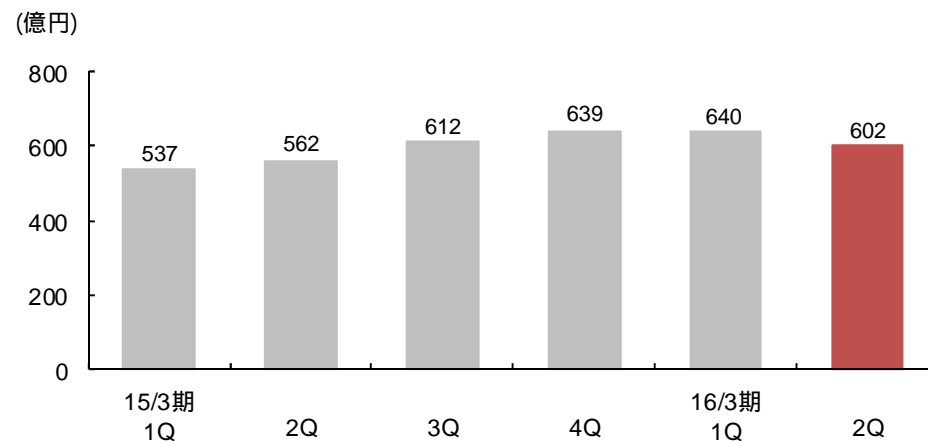
【SMBC日興証券単体】

業績の四半期推移

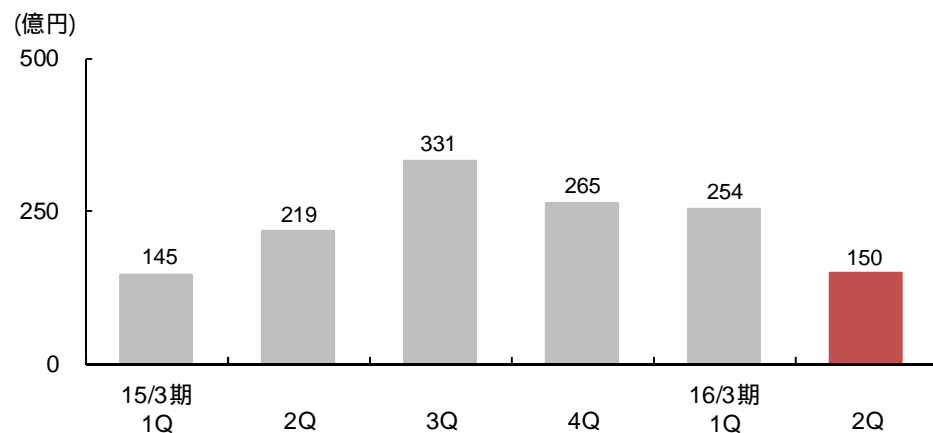
純営業収益



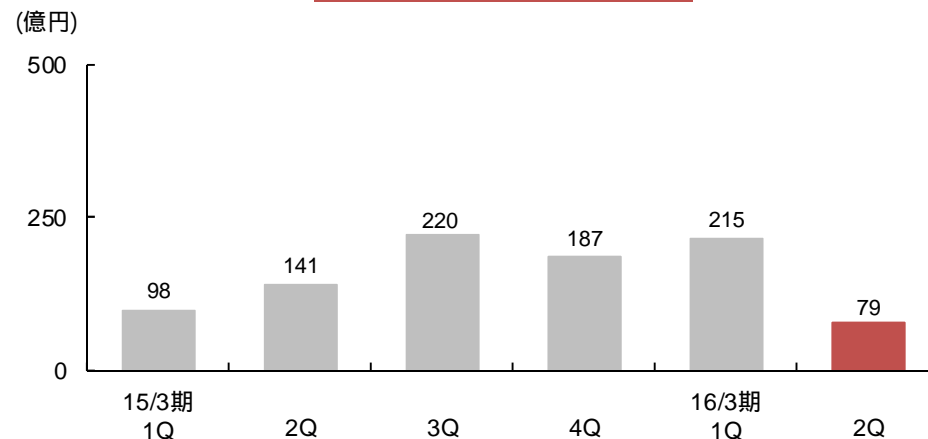
販売費・一般管理費



経常利益



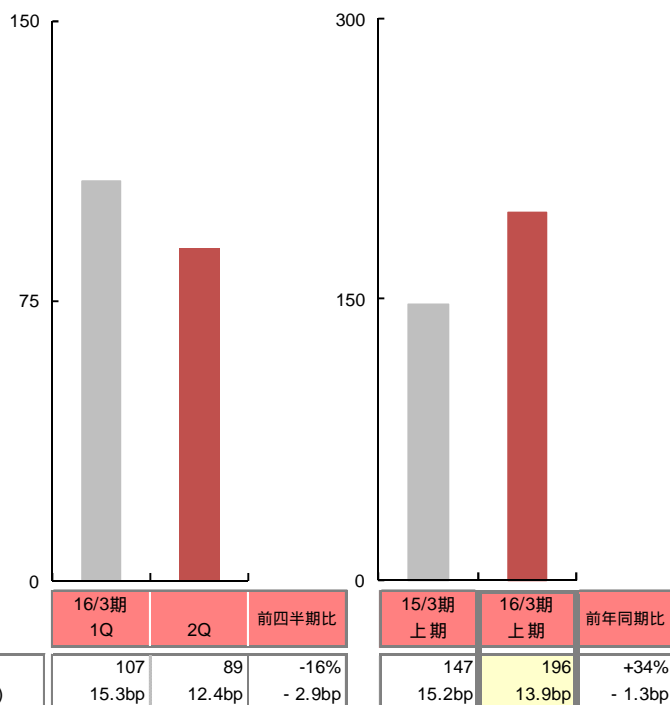
当期純利益(*)



株式委託手数料

- ◇ 第2四半期の株式委託売買代金は6兆2,855億円(前四半期比-2%)、株式委託手数料は89億円(同-16%)
世界経済の先行き不透明感などから株式相場は不安定化し、個人を中心に取引が減少傾向
- ◇ 上期の株式委託売買代金は12兆6,983億円(前年同期比+44%)、株式委託手数料は196億円(同+34%)と大幅増収

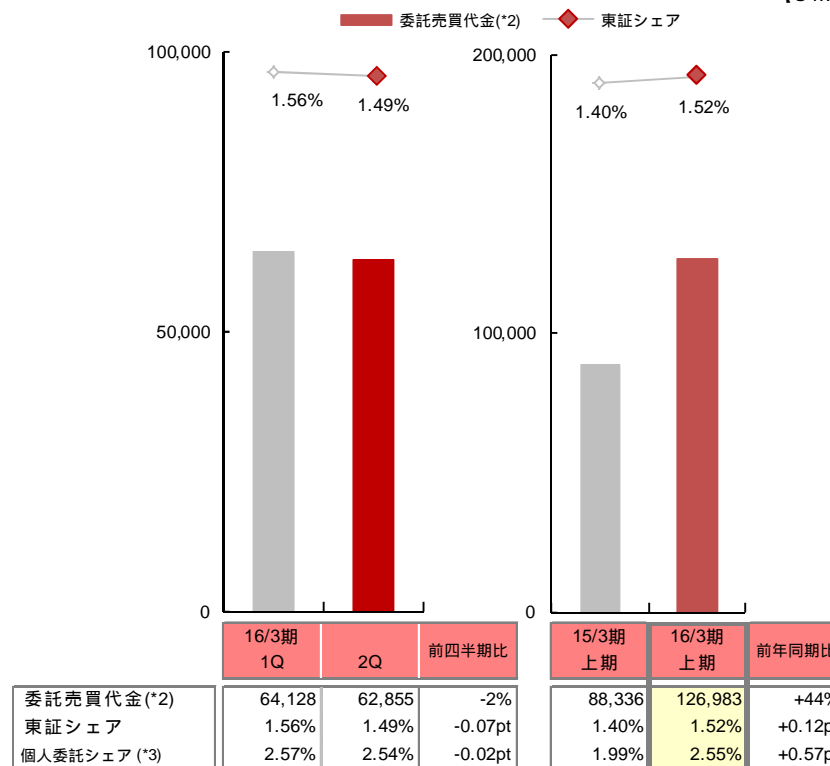
株式委託手数料 推移(億円)



(*1) 調整後株式委託手数料 ÷ 株式委託売買代金(集計対象:現物及び信用取引)

株式委託売買代金・東証シェア 推移(億円、%)

【SMB C日興証券単体】



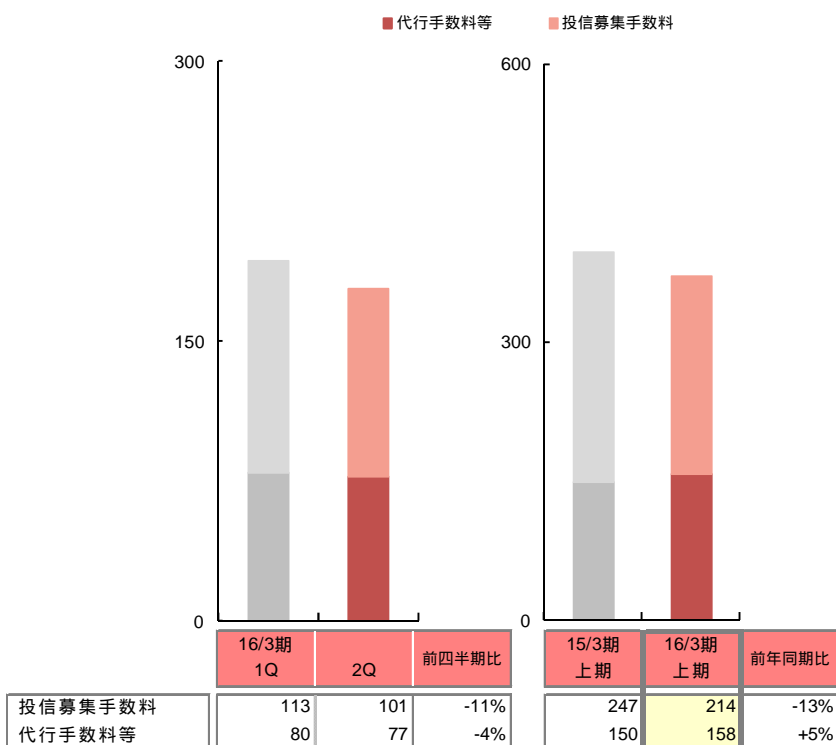
(*2) 集計対象は全市場

(*3) 集計対象は東証・名証の一部・二部等

投信募集・代行手数料等

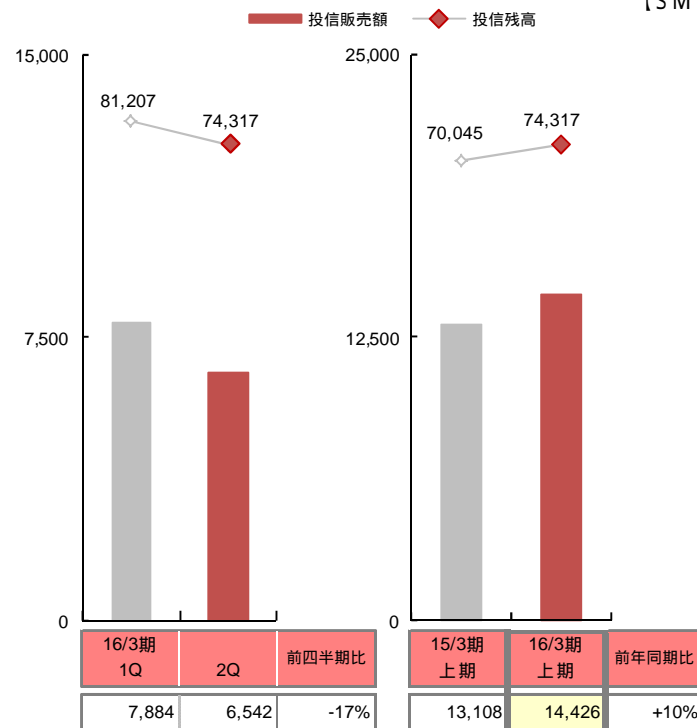
- ◇ 第2四半期の投信販売額は6,542億円(前四半期比-17%)、投信募集手数料は101億円(同-11%)
 ロボット関連企業を投資対象とする新ファンドの販売は伸長したが、相場環境が影響し、投信販売額は減少
- ◇ 上期の投信販売額は1兆4,426億円(前年同期比+10%)、投信募集手数料は214億円(同-13%)

投信募集手数料/代行手数料等 推移(億円)



投信販売額/投信残高 推移(億円)

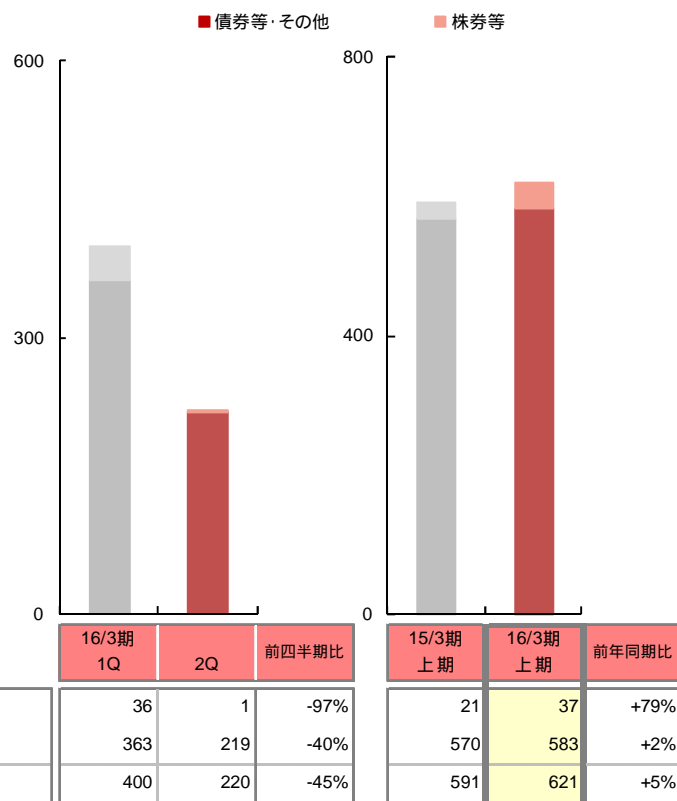
【SMB C日興証券単体】



トレーディング損益

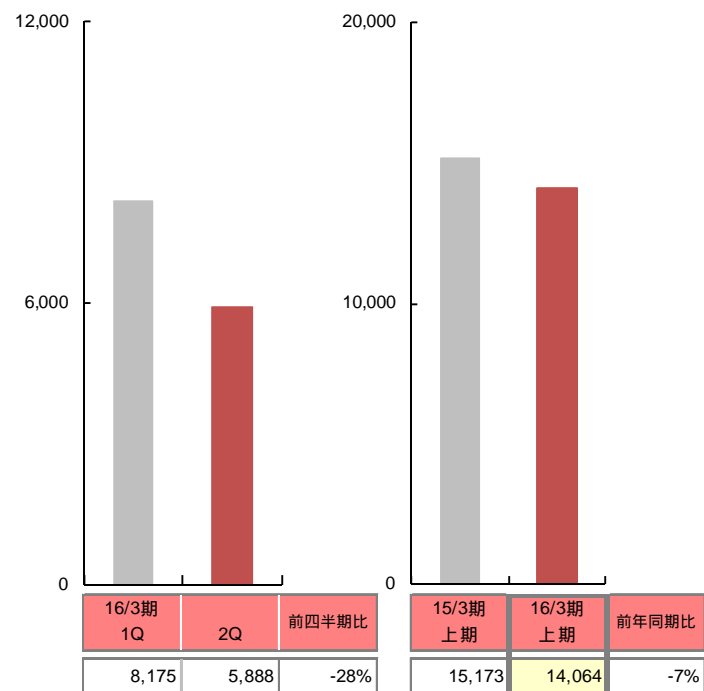
- ◇ 不安定な相場環境が影響し外債販売等が減少、第2四半期のトレーディング損益は220億円(前四半期比-45%)
- ◇ 上期のトレーディング損益は、621億円(前年同期比+5%)となり、増収を確保

トレーディング損益 推移(億円)



外債販売額 推移(億円)

【SMBC日興証券単体】

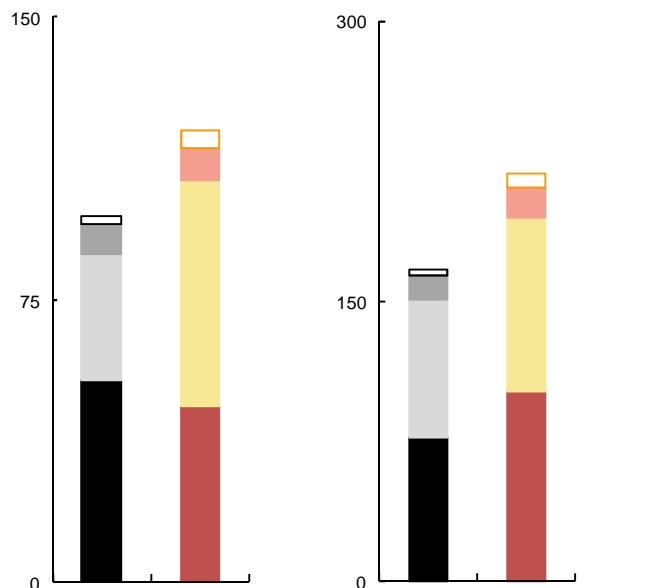


引受関連手数料 (株式・債券)

- ◇ 第2四半期の引受手数料は107億円(前四半期比+20%)、収益は高い水準を継続
- ◇ 2015年度4-9月 グローバル株式・株式関連-日本・ブックランナーは3位(シェア13.7%)、円債総合-主幹事は4位(シェア16.8%)

引受関連手数料(株式・債券) 推移(億円)

■ 株式 ■ 債券 ■ 募集手数料(株式・債券) ■ その他引受関連手数料(*)



	16/3期 1Q	2Q	前四半期比	15/3期 上期	16/3期 上期	前年同期比
引受手数料	89	107	+20%	152	197	+29%
株式	54	47	-13%	77	102	+32%
債券	33	60	+80%	74	93	+26%
募集手数料(株式・債券)	8	8	+2%	13	16	+27%
その他引受関連手数料(*)	2	5	2.0倍	3	8	2.1倍

(*) 流動化アレンジメントにかかわる収益を含む

グローバル株式・株式関連-日本・ブックランナー 2015年度

順位	ブックランナー	引受金額 (億円)	シェア (%)
1	野村	8,727	31.5%
2	三菱UFJモルガン・スタンレー	5,186	18.7%
3	SMBC日興	3,786	13.7%
4	大和	3,637	13.1%
5	みずほ	2,476	8.9%

出所: THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成
(海外拠点を含む)

円債総合-主幹事 2015年度

順位	主幹事	【SMBC日興証券単体】	
		引受金額 (億円)	シェア (%)
1	三菱UFJモルガン・スタンレー	15,468	20.0%
2	野村	14,359	18.6%
3	大和	13,028	16.9%
4	SMBC日興	13,006	16.8%
5	みずほ	12,641	16.4%

出所: THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成
(事業債、財投機関債、地方債[主幹事方式]、サムライ債)

◇ 2015年度4-9月 M&Aリーゲテーブルは80件を獲得し、取引金額ベースで6位(占有率17.4%)、案件数ベースで1位(同5.4%)

ファイナンシャル・アドバイザー 取引金額ベース 2015年度(*)

順位	アドバイザー	取引金額 (億円)	占有率 (%)
1	ゴールドマン・サックス	34,255	36.4%
2	モルガン・スタンレー	33,970	36.1%
3	野村	23,309	24.8%
4	みずほフィナンシャルグループ	19,012	20.2%
6	三井住友フィナンシャルグループ	16,412	17.4%

ファイナンシャル・アドバイザー 案件数ベース 2015年度(*)

順位	アドバイザー	案件数	占有率 (%)
1	三井住友フィナンシャルグループ	80	5.4%
1	みずほフィナンシャルグループ	80	5.4%
3	野村	63	4.3%
4	モルガン・スタンレー	26	1.8%
4	プライスウォーターハウスクーパース	26	1.8%

主なM&Aの公表案件 2015年度

コカ・コーラウエスト / 四国コカ・コーラボトリング(日本製紙)

日本製紙は、連結子会社である
四国コカ・コーラボトリングの全株式を、
コカ・コーラウエストへ譲渡
(当社は日本製紙のアドバイザー)

ヤンマー / Himoina SL

ヤンマーは、スペインのHimoina SL社
の株式を取得
(当社はヤンマーのアドバイザー)

Amtek Auto Limited / 旭テック

インドの上場自動車部品メーカーである
Amtek Auto Limitedは、
旭テックの鉄鋳造鍛造事業を買収
(当社はAmtek Auto Limitedのアドバイザー)

日本特殊陶業 / UCI Acquisition Holdings

日本特殊陶業は、米UCI Holdings Limitedから
UCI Acquisition Holdings (No.2) Corp.
の全株式を取得
(当社は日本特殊陶業のアドバイザー)

FTホールディングス(Freudenberg SE/東レ) / 日本バイリン

独Freudenberg SE及び東レは、
FTホールディングスを通じ、
日本バイリンの公開買付けを実施
(当社はFreudenberg及び東レのアドバイザー及
びFTホールディングスの公開買付代理人)

EPSホールディングス / 総合臨床ホールディングス

EPSホールディングスと
総合臨床ホールディングスは、株式交換により
経営統合
(当社は総合臨床ホールディングスのアドバイザー)

大阪製鐵 / 東京鋼鐵

大阪製鐵は、東京鋼鐵の株主を大阪製鐵と阪和興
業の2社のみとすることで、東京鋼鐵を子会社化及
び非公開化するための取引の一環として、
公開買付を実施することを決定。
(公正取引委員会による排除措置命令を行わない
旨の通知受領が前提)
(当社は大阪製鐵のアドバイザー
及び公開買付代理人)

EGインベストメント (ジャパン・リニューアブル・エナジー) / エコグリーン

ジャパン・リニューアブル・エナジーが100%保有す
るEGインベストメントは、エコグリーンの17.02%を
対象とする公開買付けを行うことを決定。
(当社は、ジャパン・リニューアブル・エナジーのアド
バイザー及び公開買付代理人)

三井住友銀行との連携について

[SMB C日興証券単体]

- ◇ 三井住友銀行との銀証リテール一体化戦略である個人のお客様紹介の全店展開は2年目に突入し、引き続き一体的な資産運用サービスを提供
お客様の高齢化に伴い、グループ全体で相続ニーズへの取組みを強化
- ◇ 個人のお客様の口座数、法人のお客様の紹介件数はともに拡大しており、銀証連携は引き続き順調に進展

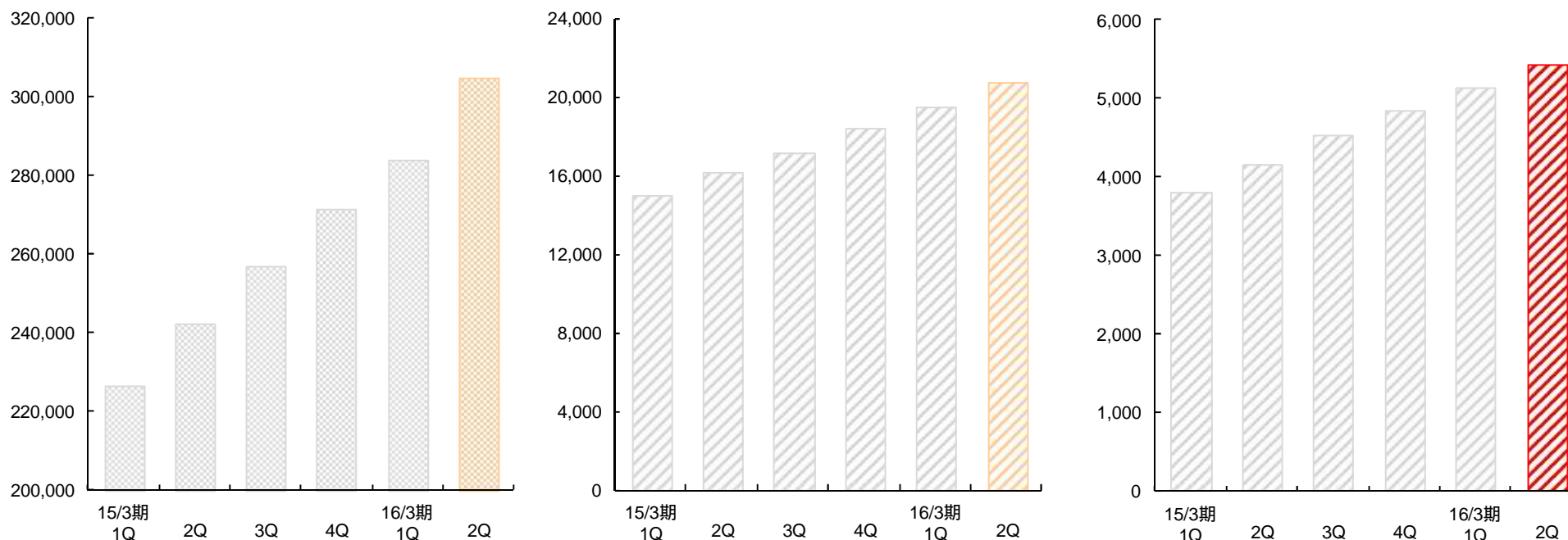
運用業務（お客様紹介業務・金融商品仲介業務^(*1)）

投資銀行業務（お客様紹介業務）

個人のお客様（口座数）^(*2)

法人のお客様（累積件数）^(*3)

法人のお客様（累積件数）



注) 口座数の実績は各四半期末の口座数を表示。件数の実績は運用業務、投資銀行業務ともに累積の数値を表示

(*1) 三井住友銀行(以下、「SMB C」)の金融商品仲介業務:当社が金融商品仲介業務を委託した三井住友銀行がお客様に対して証券取引の勧誘・媒介等を行う

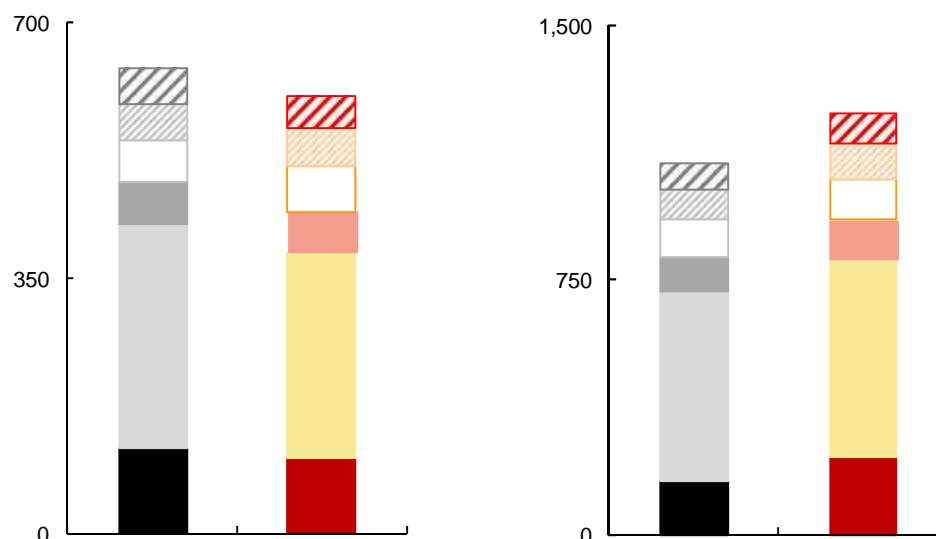
(*2) SMB Cから当社に対して紹介された個人のお客様の口座数及びSMB Cの金融商品仲介業務を通じて口座を開設された個人のお客様の各四半期末時点の口座数

(*3) SMB Cから当社に対する法人のお客様の運用業務に係る紹介件数及びSMB Cの金融商品仲介業務の件数を累積で表示

販売費・一般管理費

- ◇ 第2四半期の販売費・一般管理費は602億円(前四半期比-6%)、業績に連動する取引関係費や人件費が減少
- ◇ 上期の販売費・一般管理費は1,243億円(前年同期比+13%)、人員の増加やシステム投資に伴う固定的な費用に加え、取引関係費が増加

(億円) ■ 取引関係費 ■ 人件費 ■ 不動産関係費 ■ 事務費 ■ 減価償却費 ■ その他



(単位: 億円)	16/3期 1Q	2Q	前四半期比	15/3期 上期	16/3期 上期	前年同期比
取引関係費	118	105	-11%	163	224	+37%
人件費	308	281	-9%	554	589	+6%
不動産関係費	57	55	-3%	104	112	+7%
事務費	57	62	+8%	110	120	+9%
減価償却費	51	53	+3%	88	104	+18%
その他	47	44	-6%	78	91	+17%
販売費・一般管理費	640	602	-6%	1,100	1,243	+13%
販売費・一般管理費/純営業収益	72%	82%	+10pt	76%	77%	+1pt

連結貸借対照表・自己資本規制比率の状況

【SMBC日興証券単体】

(単位：億円)	15年3月末	15年9月末	前期末比増減
流動資産	91,249	97,691	+6,441
トレーディング商品	30,796	36,526	+5,730
有価証券担保貸付金	41,653	39,999	-1,654
その他	18,799	21,166	+2,366
固定資産	2,279	2,676	+397
有形固定資産	264	268	+4
無形固定資産	775	829	+53
投資等その他の資産	1,239	1,579	+339
資産合計	93,529	100,368	+6,839
流動負債	81,441	87,106	+5,665
トレーディング商品	23,243	23,830	+587
有価証券担保借入金	33,362	36,058	+2,695
短期借入金/CP	19,963	20,131	+167
その他	4,870	7,085	+2,215
固定負債・準備金	5,421	6,316	+895
負債合計	86,863	93,423	+6,560
純資産	6,666	6,945	+279
負債・純資産合計	93,529	100,368	+6,839

(単位：億円)	15年3月末	15年9月末	前期末比増減
基本的項目	6,235	6,476	+240
補完的項目	1,051	1,012	-39
控除資産	1,392	1,650	+258
固定化されていない自己資本	5,894	5,837	-57
リスク相当額	1,232	1,329	+96
市場リスク	449	471	+22
取引先リスク	217	237	+19
基礎的リスク	565	620	+55
自己資本規制比率	478%	439%	-39pt

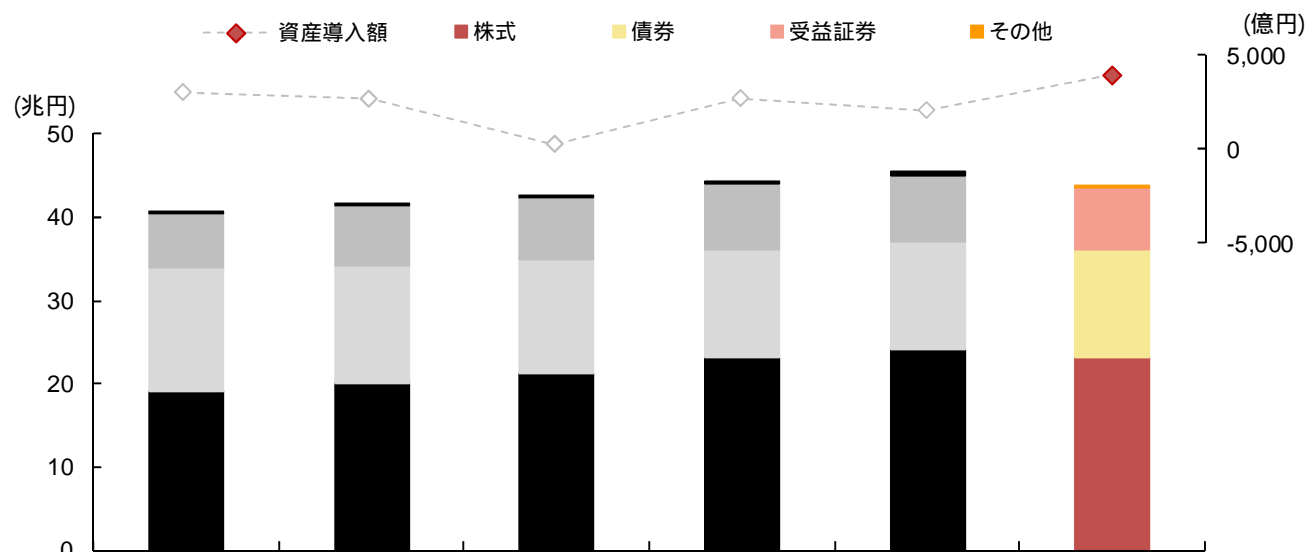
長期格付 (2015年10月26日現在) 【SMBC日興証券単体】

Moody's	S&P	R&I	JCR
A1	A	AA-	AA
[安定的]	[安定的]	[安定的]	[安定的]

預り資産残高・資産導入額

[SMBC日興証券単体]

- ◇ 2015年9月末の預り資産残高は43.8兆円(前四半期末比-3%)
- ◇ 第2四半期の営業部門の資産導入額は3,930億円



(単位:兆円)

	15/3期 6月末	9月末	12月末	3月末	16/3期 6月末	9月末
株式	19.1	20.0	21.4	23.2	24.1	23.3
債券	14.9	14.3	13.4	13.1	12.9	12.8
受益証券	6.6	7.0	7.5	7.8	8.1	7.4
その他	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3
預り資産残高(*1)	40.8	41.5	42.6	44.3	45.4	43.8

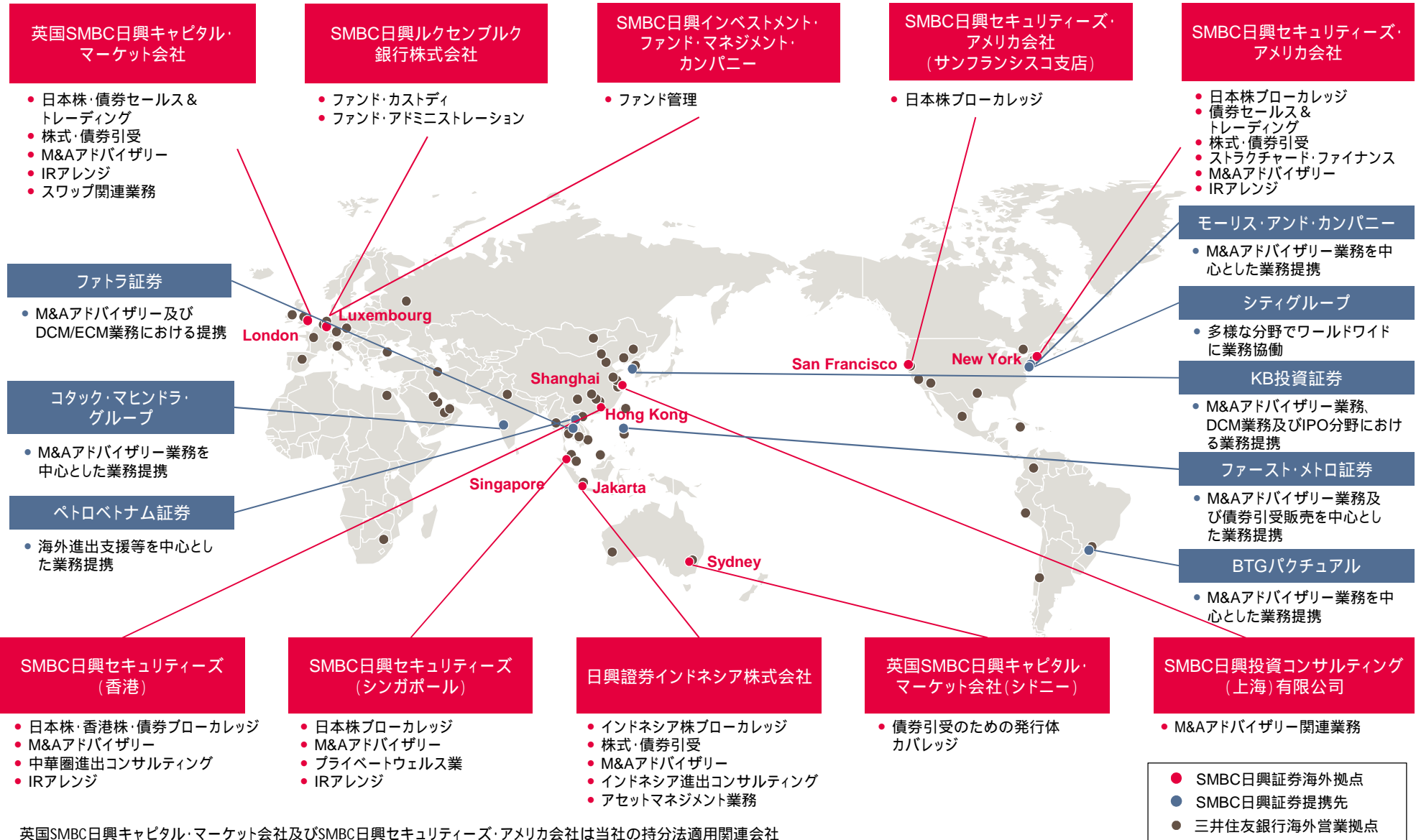
(単位:億円)

	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
資産導入額(営業部門)(*2)	3,031	2,674	274	2,707	2,069	3,930
入金入庫	9,155	11,113	11,080	13,010	13,802	13,764
出金出庫	-6,125	-8,439	-10,806	-10,303	-11,733	-9,833

(*1) 預り資産残高(うち株式)の集計範囲に法人が保有する自己株式を追加

(*2) 資産導入額の集計範囲を営業部門に変更

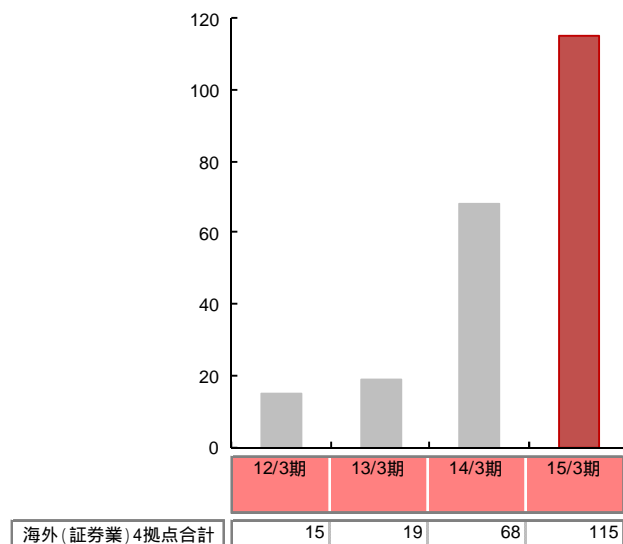
海外ネットワーク



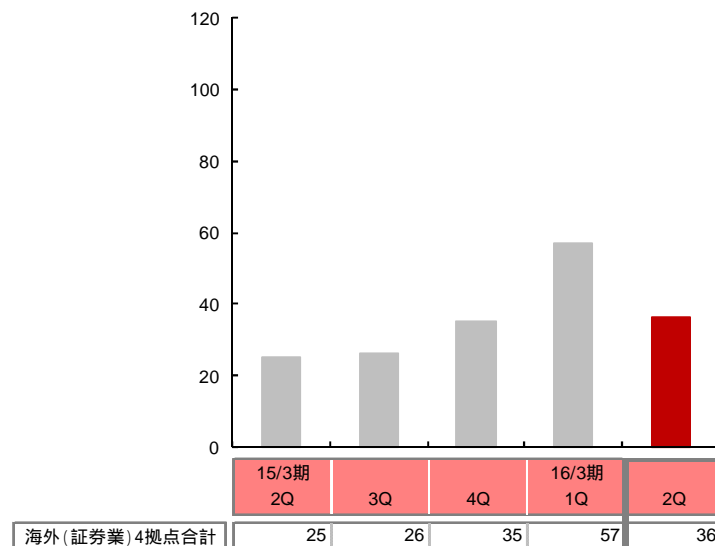
海外拠点(証券業)の業績推移

◇ 12/3期以降、国内外の体制整備や海外拠点における銀証連携等の進捗により、海外事業が拡大。

収支(内部管理ベース) 年度推移(億円)



収支(内部管理ベース) 四半期推移(億円)



・ 海外拠点(証券業)4拠点合計は、下記の合計値

- ✓ 連結子会社であるSMBC日興セキュリティーズ(香港)及びSMBC日興セキュリティーズ(シンガポール)の収支
- ✓ 持分法適用関連会社である英国SMBC日興キャピタル・マーケット会社(議決権比率:当社15.15%、三井住友銀行84.85%、2016年3月期2Qより持分法適用開始)のうち証券業務に係る収支及びSMBC日興セキュリティーズ・アメリカ会社(議決権比率:当社20.00%、三井住友銀行77.65%、SMBC Financial Services, Inc.(三井住友銀行子会社)2.35%)の収支

トピックス

「相続相談マネージャー」を全国109支店に配置

- お客様の幅広い相続相談ニーズにお応えしていくため、相続に関する専門性の高い知識と資格を有する支店管理職を「相続相談マネージャー」に認定し、本年中に全国109支店に配置を予定
- 「相続相談マネージャー」は、支店における“相続の専門家”として、支店での関連セミナーの開催やお客様の幅広い相続相談ニーズにお応えします。相続相談にかかる最新情報や税制改正等の内容を継続的に取得して、お客様の相談に役立てると共に、支店社員へ伝達することで、マネージャーとして組織的に支店全体における相続相談対応力の向上にも貢献します。

ジュニアNISAへの取り組みについて

- 2015年10月5日(月)よりジュニアNISA口座の申込受付を開始し、受付開始に伴い、ジュニアNISAの普及促進を図るため、『日興でジュニアNISAキャンペーン』を始めとしたサービスを新たに実施
- ジュニアNISAを通じて、金融リテラシーの向上を図るため、当社でジュニアNISA口座を開設いただいた未成年のお客様すべてに、オリジナル金融・経済教育教材『ジュニア経済新聞』、オリジナルカードゲーム教材『アセットモンスター』を2016年1月中旬に送付する予定

ジュニア経済新聞



アセットモンスター



ホームページを全面リニューアル

- パソコン、タブレット、スマートフォンなど、どの端末を利用してもしやすいデザインに変更
- どのページからでも、知りたい情報を、より探しやすいメニューに改善
- マーケット情報や初心者向けコンテンツなどを、より詳しく、わかりやすく掲載



「本邦No.1の総合証券会社」の実現に向けたブランド向上施策

- 2015年度、パシフィック・リーグ クライマックスシリーズに冠協賛

ファーストステージ 2015年10月10日～10月12日
ファイナルステージ 2015年10月14日～10月16日



- テレビCM「初めてでも安心 - つみたて投資」篇を、2015年8月8日(土)より全国で放映。投資に対して敷居の高さを感じている方に、安心して始められる「つみたて投資」を紹介するCM。ブランドパートナーのひとりである天海祐希さんがSMBC日興証券社員として登場。お客様といっしょに考えるパートナーとしての決意を伝えています。



参考資料

いっしょに、明日のこと。
Share the Future



四半期損益推移 (連結)

(単位:百万円)	15年3月期				16年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
営業収益	73,804	82,671	101,066	95,065	95,827	79,319
受入手数料	38,176	39,580	46,668	49,492	46,160	46,153
委託手数料	6,815	8,589	12,326	11,146	11,435	10,297
引受け・売出し特定投資家向け 売付け勧誘等の手数料	8,611	6,650	7,908	9,571	8,962	10,799
募集・売出し特定投資家向け 売付け勧誘等の取扱手数料	12,858	13,234	13,493	14,364	12,223	11,023
その他の受入手数料	9,890	11,106	12,940	14,410	13,539	14,032
トレーディング損益	27,499	31,645	45,367	35,759	40,067	22,079
株券等	2,236	-117	3,691	1,574	3,684	104
債券等・その他	25,263	31,763	41,675	34,185	36,382	21,974
金融収益	5,593	8,636	6,181	7,151	7,120	7,914
売上高	2,534	2,808	2,847	2,660	2,479	3,172
金融費用	4,302	3,014	4,708	3,249	5,241	3,303
売上原価	1,839	2,042	2,093	2,123	1,938	2,306
純営業収益	67,662	77,614	94,264	89,692	88,647	73,708
販売費・一般管理費	53,744	56,295	61,275	63,953	64,095	60,298
営業利益	13,918	21,319	32,989	25,738	24,552	13,410
経常利益	14,549	21,995	33,193	26,503	25,478	15,076
特別損益	-118	-140	-123	-184	6,246	-2,506
税金等調整前当期純利益	14,431	21,854	33,070	26,318	31,724	12,569
法人税、住民税及び事業税	123	604	9,496	12,502	708	6,464
法人税等調整額	4,475	7,074	1,537	-4,903	9,418	-1,808
当期純利益	9,832	14,174	22,036	18,719	21,597	7,912
親会社株主に帰属する当期純利益	9,831	14,170	22,028	18,716	21,593	7,904

四半期損益推移 (SMBC日興証券)

(単位:百万円)	15年3月期				16年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
営業収益	69,191	77,694	95,547	90,181	90,922	73,941
受入手数料	36,395	37,722	44,317	47,473	44,041	44,169
委託手数料	6,300	7,944	11,442	10,361	10,636	9,516
引受け・売出し特定投資家向け 売付け勧誘等の手数料	8,611	6,650	7,906	9,571	8,962	10,799
募集・売出し特定投資家向け 売付け勧誘等の取扱手数料	12,628	13,128	13,465	14,308	12,037	10,982
その他の受入手数料	8,854	9,998	11,502	13,232	12,405	12,870
トレーディング損益	27,499	31,645	45,367	35,759	40,067	22,079
株券等	2,236	-117	3,691	1,574	3,684	104
債券等・その他	25,263	31,763	41,675	34,185	36,382	21,974
金融収益	5,295	8,327	5,862	6,947	6,813	7,693
金融費用	4,031	2,732	4,418	3,066	4,962	3,111
純営業収益	65,159	74,962	91,129	87,114	85,959	70,830
販売費・一般管理費	52,970	54,878	59,398	61,945	62,816	58,885
営業利益	12,189	20,084	31,730	25,169	23,143	11,945
経常利益	12,490	20,502	31,684	28,600	23,390	12,507
特別損益	-206	-140	-123	-413	4,611	-4,588
税引前当期純利益	12,283	20,362	31,561	28,186	28,001	7,919
法人税、住民税及び事業税	19	39	9,005	12,113	561	5,932
法人税等調整額	4,052	7,174	1,583	-4,150	8,548	-3,201
当期純利益	8,212	13,148	20,973	20,222	18,892	5,187

主要商品販売額

(単位:億円)	15年3月期				16年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
投資信託	6,055	7,053	7,495	8,553	7,884	6,542
(株式投資信託)	(4,361)	(5,222)	(5,563)	(6,080)	(5,316)	(4,367)
(外国籍投資信託)	(1,164)	(1,295)	(1,430)	(1,440)	(1,267)	(929)
外債(*)	7,583	7,589	8,020	7,713	8,175	5,888
(外貨建て債券)	(2,025)	(1,936)	(2,875)	(2,168)	(2,367)	(1,935)
国内債	7,989	6,495	5,909	5,505	7,463	9,476
(個人向け国債)	(1,028)	(922)	(765)	(1,365)	(1,297)	(1,517)
株式募集	1,179	701	947	1,284	1,213	941
年金・保険商品	41	123	154	172	191	189
主要商品販売額合計	22,848	21,961	22,525	23,228	24,925	23,037

(*) 外債販売は、既発債の販売も含む。円建外債は、外債に含む。

マーケットシェア

	15年3月期				16年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
株券引受 グローバル株式 (*1)	23.1%	17.8%	17.2%	17.0%	12.5%	13.7%
債券引受 円債総合 (*2)	15.5%	16.1%	15.5%	15.6%	15.9%	16.8%
M&A 日本企業関連 (*3)	1.9%	7.5%	6.7%	7.8%	18.0%	17.4%

(*1) グローバル株式・株式関連・日本・ブックランナー 出所: THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成

(*2) 円債総合・主幹事 出所: THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成

(*3) 日本企業関連M&A公表案件(取引金額シェア) 出所: THOMSON REUTERS

第1四半期より、リーゲータブルはグループ合算での順位表示に変更

ダイレクトチャネル比率(*1)

	15年3月期				16年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
約定件数ベース	91.3%	91.1%	88.5%	89.6%	90.0%	91.5%
(日興イーजीトレード)	(85.7%)	(84.5%)	(81.7%)	(83.1%)	(83.8%)	(85.9%)
手数料ベース	38.5%	45.7%	45.2%	45.4%	43.0%	44.4%
(日興イーजीトレード)	(26.3%)	(30.5%)	(31.0%)	(31.5%)	(27.8%)	(29.5%)

(*1) S M B C 日興証券における個人のお客様からの株式・CB取引(委託売買、募集)に占める対面以外の比率。

売買代金・手数料率(*2)

(単位:億円)	15年3月期				16年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
株式委託売買代金	41,896	46,441	62,475	60,754	64,128	62,855
株式委託手数料(*3)	65	82	114	102	107	89
単純平均委託手数料率	14.1bp	16.2bp	16.6bp	15.5bp	15.3bp	12.4bp

(*2)株式委託売買代金・委託手数料率は現物および信用取引を集計対象としている。

(*3)連結ベース

営業指標-3

口座数

【SMB C日興証券単体】

(単位:千口座)	15年3月期				16年3月期	
	14/6	14/9	14/12	15/3	15/6	15/9
総口座数	2,517	2,546	2,575	2,605	2,629	2,666
証券総合口座数	2,186	2,215	2,243	2,271	2,294	2,332
新規登録口座数	31	45	48	51	42	55

店舗数

【SMB C日興証券単体】

	15年3月期				16年3月期	
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
国内店舗数	112	116	121	123	123	123

人員数

	15年3月期				16年3月期	
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
人員数	9,586	9,528	9,464	9,367	10,022	9,936
海外(証券業)4拠点人員数	326	340	349	362	378	396

- 海外拠点(証券業)4拠点人員数は、下記の合計人員数
 - ✓ 連結子会社であるSMB C日興セキュリティーズ(香港)及びSMB C日興セキュリティーズ(シンガポール)の人員数
 - ✓ 持分法適用関連会社である英国SMB C日興キャピタル・マーケット会社のうち証券業務に係る人員数及びSMB C日興セキュリティーズ・アメリカ会社の人員数

いっしょに、明日のこと。
Share the Future



SMBC日興証券